

平成24年度大分県国民保護実動訓練を実施しました

本県では、万が一一大規模なテロ等が発生した場合に、迅速かつ的確な県民の避難や救助・救護活動等が行えるよう関係機関と連携して国民保護訓練を実施しています。

訓練の概要

1 目的

国民保護法及び大分県国民保護計画に基づき、緊急対処事態等（大規模テロ災害）が発生した場合における

- ① 関係機関との訓練準備期間の調整及び訓練実施を通じた連携強化
- ② 災害発生時における関係機関の機能確認と相互の連携強化による初動対処能力の向上
- ③ 国民保護法に関する県民の理解促進

2 実施日時

平成24年10月11日（木） 10:00～11:30

3 訓練場所

別府国際観光港第4埠頭（第3埠頭一部駐車場含む）、国際観光港多目的広場、大分空港、大分医大

4 訓練参加機関（訓練参加機関）

国土交通省大阪航空局大分空港事務所、自衛隊大分地方協力本部、自衛隊別府病院、陸上自衛隊西部方面ヘルコプター隊、陸上自衛隊第41普通科連隊、海上自衛隊呉地方総監部「海上自衛隊佐伯基地分遣隊」、大分県（防災危機管理課・消防保安室・地域福祉推進室・医療政策課・薬務室）大分県警察本部（警備二課）、大分県警察本部警備部機動隊、別府警察署、大分県ドクターヘリ、別府市、別府市消防本部、杵築速見消防組合消防本部、日本赤十字社大分県支部、大分県医師会、大分市医師会、大分市郡市医師会、別府市医師会、大分DMA T、九州管区警察局大分県情報通信部機動通信隊、その他協力団体等

5 訓練想定

10月11日（木）10時00分頃、大分市大規模集客施設（大分駅構内）及び別府国際観光港第4埠頭で同時爆弾テロが発生、負傷者が多数発生。

※大分駅事案は想定上とし、別府国際観光港事案を実働により訓練

訓練の概況



今回の訓練では、別府看護学生や退職校長会の皆様にも被災者役として参加していただきました。



10時00分、同時爆弾テロが発生。救急隊がトリアージにより治療の優先順位を決定します。



歩ける負傷者は自力で避難します。



自衛隊も負傷者を搬送。いざという時に頼りになります。



重傷者を優先して病院へ搬送します。



最も緊急を要する負傷者はドクターヘリにて大至急病院へ。



自衛隊もヘリで負傷者の搬送を行いました。



応急処置を受ける被災者。



各医療機関が連携し迅速に対応していきます。



広瀬知事も訓練統監として参加しました。



現地調整所では各関係機関が連携して対応していきます。



搬送状況等取りまとめ。負傷者はかなりの数です。



観光船に見立てた海上自衛艦「げんかい」前が今回のテロ現場でした。
(実況検分中の警察機動隊)



参加者全員で訓練終了式。皆様お疲れ様でした！